2012 Autumn NO.44

写真ニュース

2012 国際協同組合年
埼玉県のマスコット コバトン
発行:埼玉県生活協同組合連合会　〒330-0064　さいたま市浦和区岸町7-11-5　TEL:048-844-8971　URL http://saitama.kenren-coop.jp

Top News 8/24～26

福島の子ども保養プロジェクトin埼玉
思いっきり外遊びを楽しみ 埼玉での思い出を作ってもらいました

大いに盛り上がったビンゴ大会

埼玉大学の中庭で綱引き、輪投げ等で遊びました

アロママッサージでリフレッシュ

東京電力福島第一原発事故により、外で思い切り遊ぶことも出来ない福島の子どもたちや、精神的にも大変な思いをされている保護者の方々32家族78人をお招きしました。24日は、東武動物公園の見学、県民活動センターでの組合員ボランティアも参加したウェルカムパーティー、ビンゴ大会や花火を楽しみました。25日は、埼玉大学で子どもたちは綱引き・輪投げ・へびジャンケン等で外遊びを元気に楽しみ、保護者の方々はアロママッサージ等を堪能。夜は、NACK5スタジアム大宮で大宮アルディージャ対ベガルタ仙台戦を観戦しました。26日は、大宮鉄道博物館を見学、子どもたちは学生ボランティアとの別れを惜しみながら帰途につきました。

埼玉県生協連創立40周年記念講演会・祝賀レセプション
40年に感謝、あらたな発展のはじまりの年にします

7月12日(木)、浦和ロイヤルパインズホテルにて開催され、塩川県副知事、小島県議会議長、清水さいたま市長、加藤さいたま市議会議長、長峰自民党議員団団長、畠山民主党・無所属の会代表、西山公明党議員団団長はじめ県議会各会派の皆様、県行政・有識者・県内諸団体等各界代表の皆様159人にご出席いただきました。記念講演会では、有識者の「生協に関するアンケート」の結果報告、東京大学名誉教授の神野直彦氏より「生活協同組合への期待」と題して講演いただきました。祝賀レセプションでは、ご来賓の皆様からの祝辞をいただき、和やかに懇親を深めました。

祝賀レセプションの様子

主催者あいさつする伊藤会長理事

7/29

平和を願い合唱する平和の木合唱団と埼玉合唱団

第27回埼玉県原爆死没者慰霊式
核兵器廃絶と平和を願い360人が参加

しらさぎ会主催、4団体が呼び掛けた実行委員会により、さいたま市別所沼公園内「慰霊の碑」前で開催されました。しらさぎ会田中会長は「私たちは、慰霊式を支えてくださる団体、個人としっかりと手を携えて、核兵器のない世界、核の脅威のない世界の実現に向けて、力を尽くします。」とあいさつしました。今年は、韓国の「平和の木合唱団」、議員の皆様、若者、実行委員会団体等から昨年の倍以上の参加がありました。

第33回九都県市合同防災訓練<埼玉会場>
生協の災害支援活動や防災の取り組みを紹介

「阿須・岩沢運動公園」(飯能市)を主会場に、全体で約4,000人、埼玉県生協連から5生協・2連合会37人が参加しました。防災フェアの会場では、災害と食・東日本大震災への支援の取り組みのタペストリー等の展示、非常持ち出し品チェックリストやさいたまコープによる応急生活物資を配布。また、防災クイズや医療生協さいたまの健康チェックに大勢の方が参加しました。

9/2

救援物資の広域搬送訓練に生協車両3台が参加

上田県知事がさいたまコープの応急生活物資配布訓練に飛び入り参加

医療生協さいたまの血圧測定や体脂肪チェック

9/22

JAとの協同組合間提携:平成24年度埼玉県産米交流会「体験稲刈り」
強風と雨にも負けず、元気よく稲刈りをしました

生産者・消費者の交流を目的に今回で14回目となる稲刈りに30家族117人が参加しました。会場の「体験圃場」(久喜市)で、参加者は、鎌の使い方の説明を受けた後、圃場の周りを1株程度刈り取りしました。また、クイズラリーも行われお米のミニ知識も勉強しました。体験後は、県産米のおにぎりや県産野菜がたくさん入った豚汁等の試食、バケツ稲の脱穀方法や籾殻取りの説明と春から育てたバケツ稲の栽培体験の発表がありました。

マスコミさいたま支局長会との懇談会
県内生協の取り組みをアピール

県内生協の取り組みや活動についてもっと知っていただきたいとの思いから、毎年懇談会を開催しています。さいたま支局長会6社、埼玉県生協連・会員生協から8生協(連)あわせて27人が参加しました。埼玉県生協連からは福祉の子ども保養プロジェクトin埼玉、会員生協からは東日本大震災への支援活動、持続・再生可能なエネルギーへの転換をめざす活動等を報告し、和やかに懇談しました。

9/27

幹事社を代表して桜井東京新聞さいたま支局長のあいさつ

社会貢献活動や多彩な取り組みが広がっています

この紙は再生紙を使用しています　PRINTED WITH SOY INK　印刷は環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

さいたまコープ
「コープフェスタ2012 つなげよう笑顔 つながろう世界と」開催

10月13日、14日、さいたまスーパーアリーナおよびけやきひろばで、コープネット事業連合と「コープフェスタ2012　つなげよう笑顔 つながろう世界と」を主催、医療生協さいたま主催「健康フェスタ」、埼玉県生協連主催「国際協同組合年」と「国際フェア2012」「埼玉物産観光フェア」の5つのイベントが同時開催され、約280団体が出展。コープ商品等の試食・販売、埼玉県の名産品等の販売、国際協同組合年や東日本大震災復興支援等の展示が発表され、2日間で約12万人の組合員、県民の皆さんにご来場いただきました。

生協パルシステム埼玉
蕨市見守りネットワーク活動に関する調印式が執り行われました

9月19日(水)、蕨市役所において、蕨市との間で協議を進めてきた「蕨市見守りネットワーク活動」に関する協定書の調印式が執り行われました。「見守りネットワーク活動」とは、蕨市の組合員宅への商品配達時に、異変を察知した場合、配送担当者が蕨市に連絡し、蕨市が報告に基づいて安否確認を行うものです。この取り組みを通じて、蕨市民の安全を守り、安心して暮らせるまちづくりに貢献していきたいと考えています。

生活クラブ生協
相互たすけあい社会をめざして

生活クラブ埼玉では相互たすけあいとして、自分ができることを募り、登録しコーディネートすることでたすけあいの輪を広げてきました。登録の地域格差等の課題などもあり、たすけあいボランティア養成講座を開催していくことで地域でのグループ化を目指しています。また現在、介護保険事業所(通称わーくわっく)のある3つの地域では組合員・市民を対象に資格保持者でない人も参加できる仕組みとして寄り添いボランティアによるグループづくりも進めています。

医療生協さいたま
安心して在宅介護を続けるために ～小規模多機能型居宅介護事業スタート

10月1日にふじみ野ケアセンター(ふじみ野市)で、医療生協さいたまでは初めての「小規模多機能型居宅介護事業」をスタートしました。この事業では、一人一人の利用者の通所(デイケア)、泊り(ショートステイ)、訪問介護を同じ職員が対応し、顔なじみの関係を築いて、認知症の方でも安心して過ごしていただくことができます。登録できる利用者は25人までで、介護スタッフ9人が2交代であたります。

子どものその保育生協
笑顔いっぱいのみんなの運動会

第48回子どものその運動会が、10月8日に行われました。4月に開園した保育園と合同での初めての運動会。小さい子どもたちが駆けっこしたり跳んだりすると思わず「がんばれがんばれ」と声援が起きました。午前の部最後のソーラン節は、年長組伝統の踊りです。心をこめて踊る姿に、感動の拍手と涙があふれました。午後は、組合員のための運動会。卒園生、お父さんお母さん、おじいちゃんにおばあちゃん、卒園した組合員までたくさんの方に参加していただき、大いに盛り上がりました。

コープネット事業連合
ペットボトルキャップ回収で、ポリオワクチン9,650本分の募金を贈呈

贈呈式は、組合員理事が参加する「コープネット店舗委員会」の冒頭に行いました。前列左から二人目がJCVの大石倫義事務局長

9月20日、コープネットグループの全店舗で組合員から回収しているペットボトルキャップの売却代金、19万3000円を募金として認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に贈呈しました。募金はJCVによる世界の子どもたちにワクチンを送る活動に役立てられます。ペットボトルキャップの回収は、今年の2月からさいたまコープなどグループ全店で開始し、8月20日までの6カ月で19.3トン(約770万個)が集まりました。

埼玉県労働者共済生協
全労済セミナーが開催されました

10月9日(火)、浦和ロイヤルパインズホテルにて75団体110名参加のもと、全労済セミナーが開催されました。セミナーでは講師に沖倉功能氏を招き、「年金最新情報！これからどうなる！？公的年金の現状と今後の対策」の講演をいただき参加者の皆様に好評でした。また、全労済埼玉県本部では10月から12月まで「保障点検キャンペーン」と位置づけ、「更なる助け合い運動を拡大すること」をみんなで確認しあい閉会となりました。

十文字学園生協
Peace Now!! 長崎2012に参加

長崎で行われた平和式典に参加した学生は「今回参加して学んできたことを周りへ伝えていき、学生一人ひとりが他人事だと思わず自分たちにできることを見つけ実行していきたい。私たちは後世へ伝えていく役割があると思うので、私たちにできる平和活動を通して永遠の平和を呼びかけ続けたいです。“平和”への取り組みを興味のある視点から広げ、きっかけを作っていきたい。」と感想を話しています。広島で学習したことの発表を学園祭(桐華祭10/27～28)の平和展で行なっています。